

平成24年度に熊本県が募集した「くまもと歴町50選」に、このたび浜町商店街と馬見原商店街が選定されました。「くまもと歴町50選」の対象は、熊本県内に残る伝統的建造物（建築物をはじめ、橋りょうや水門、石垣、水路などの土木構造物を含む）を中心とした優れた歴史的・文化的町並みです。各市町村などの推薦のもとに熊本県が書類・現地審査を行い、県内60地区を選定しました。



元禄井手（浜町商店街）

浜町商店街の町並みの概要

濱町商店街と馬見原商店街は、日向往還の宿場町として発展してきた町並みですが、後世に残すことが望ましい県民の誇るべき文化遺産であると評価されました。今後、選定地区は県の補助によりガイドブックなどで紹介されるほか、選定を証する銘板が通り沿いに設置される予定です。また、選定地区の歴史的・文化的価値の再評価と、町並みの保全・活用の機運の高まりが期待されます。今回の選定により、浜町商店街においては「山都町中心市街地活性化協議会（山下泰雄会長代行）」、馬見原商店街においては「馬見原街づくり協議会（森川弘士会長）」などの団体を中心とした町づくり、弾みがつきそうです。

○中世を起源とする日向往還を代表する宿場町で、通潤酒造をはじめとした江戸時代の商家や土蔵が点在しています。
○中世の豪族「阿蘇氏」が浜町に本拠地を据えました。浜の館跡、岩尾城跡、小一領神社、福王寺、阿蘇氏全盛期の大宮司「惟豊（これとよ）」の墓、河床を平たく削った「御前（ごぜ）渡し」など権勢の跡が残ります。
○通潤橋や浜町橋に代表される江戸時代の石造りの土木構造物が、現役で活躍しています。
○大半は暗渠（トンネル）ですが、商店街の中及び周辺に元禄井手などの農業用水路が張り巡らされています。商店街は農地に囲まれており、古くから農家と商家のつながりが深く、農商融合の美しい田園景観を形成しています。
○9月の八朔祭では自然の素材を活かした大造り物の引き回しが行われ、賑わいます。
○五老ヶ滝川には、赤禿（あかはげ）の滝、とどろ滝など、人工的に建造された滝があり、元々あったかのように周囲と美しく調和しています。

馬見原商店街の町並みの概要
○明治時代には日向往還の宿場町として栄え、農産物や物資輸送の拠点として機能しました。馬見原駄賃（だちん）と呼ばれる馬口勞（ばくろう）が産物の輸送に活躍しました。明治4年ころの馬見原町には、熊本県内の市町村で一番多い2,898頭の馬が飼育されていました。
○最盛期には造り酒屋が16軒も立ち並び、賑わいました。当時は商家の旦那衆が五ヶ瀬川に舟を浮かべて川遊びを楽しみました。
○山都町指定文化財で醤油造りに使われた木造3階建ての「新八代屋」は、馬見原のシンボルとして親しまれています。また、本八代屋・南八代屋などの建物、本吉野屋跡の石垣、下番（かほん）の眼鏡橋、県内の水道施設では2番目に建造された馬見原水道貯水池、全国の国道（当時）で唯一大しめ縄のかかっていた夫婦岩など往時の繁栄が偲ばれる建造物が点在しています。
○火伏せ地藏堂、龍専寺、明徳稲荷神社、生目（いくめ）神社、加藤神社など、歴史ある神社仏閣が点在しています。



新八代屋（馬見原商店街）

町長室から 工藤 秀一

第19回全国棚田サミットが11月8日から9日までの二日間、和歌山県有田川町で開催されました。昨年は、山都町で開催され、全国各地から多くのご参加をいただきました。本年度の全国棚田サミットでは、全国棚田連絡協議会の会長として、ご挨拶を申し上げます。

この挨拶の中で、「日本の原風景であり、先人たちの知恵と努力により守られてきた棚田を、未来へ引き継いでいく意義を考え、棚田を維持していく努力をしよう」ということ「加えて、「条件不利である棚田を抱える地域への、国県の手厚い支援をお願いしたい」ということを述べました。今、各々の条件不利地域で、中山間地域直接支払い制度や農地・水・環境保全管理支払い交付金制度により、農道や水路の整備、あるいは農業機械の共同購入などの条件整備が進められていくこと」を加えて、「条件不利である棚田を抱える地域への、国県の手厚い支援をお願いしたい」ということを述べました。



山都町は高冷地に圃場があり、冷涼なため、比較的病害虫の発生が少なく有機農業の実践に有利です。そのため、有機農業が早くから活発に取り組まれており、そのうえ棚田は溪流のきれいな水を利用します。このように、棚田は安全・安心な食糧の生産に加え、集落維持、水源涵養、生態系保全といった多面的機能を有しており、その意義と重要性を今後あらゆる機会を通して訴えていきます。また白糸第一自治振興区では、棚田の維持に見合う農業経営とするため、米のブランド化などに向けた取り組みが進められており、この成果を期待しています。

自然の中で豊かな育の子どもたち その47

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

前号に続き「通潤用水の生きものたち」観察会の様子をお伝えしたい。「シビンタが見つかりましたよ！」という声に、参加者が集まった。水槽に入れられたシビンタを見て驚いた。昨年同様に、見事に婚姻色を身にまとったオスのシビンタが捕獲されていた。「これがシビンタね。きれいかなえ。」と、初めて見るシビンタに感動した参加者の声があった。子どもたちは、さらに意欲を出して再び水路に入っていた。しばらくすると、「タガメが獲れましたあ！」と声が上がった。すばらしい。今年もこの水路でタガメを確認できたのだ。



生きものの採集を終わり、全員で生きものを観察しながら鬼倉先生と共に説明を始めた。まず、魚の種類はドンコ、カワムツ、タカハヤ、ドジョウ、そして今日の主役のシビンタ（アラボテ）の5種であった。シビンタは、主に平野部に生息しているタナゴの仲間だが、山都町のような標高の高い場所にいるシビンタは他に例がない。タガメやクロゲンゴロウなど絶滅危惧種も確認できた。さらには、トノサマガエルやアカハライモリも観察することができた。現在、熊本でも準絶滅危惧種になっている。この日のサプライズは、お腹に子どものカニをいっぱい抱えたサワガニの発見だった。子ガニは塊になってしっかりと母ガニにしがみついていた。何とも微笑ましい姿だった。今回の観察会で、通潤用水の生きものたちの種類の多さが分かり、用水路一帯の生態系の把握にもなった。あらためて自然の豊かさを確認できた観察会だった。



YOU&YOU通信 Vol.78

結婚相談員です！



荒木 博道さん (須原) TEL 82-2682

5年目になります荒木です。出逢いを探しているあなたぜひ参加をお願いいたします。相談事があつたら気軽に声をかけて下さいね！一緒に楽しく考えながら頑張りましょう！

10月・11月交流会紹介

10月6日（日）、男女19名の参加のもと、福岡方面へ出かけました。前半期（4月〜9月）までは、山都町での菜園交流会をメインで行っていましたが、後半期はまた違った内容で実施していきます。久しぶりの遠出となった今回は、福岡へ女性の好きなスイーツの食べ放題に行ってきました。女性は、大喜びの様子でしたが、男性もそんな女性の姿を前に、「満悦の様子でした。その後は、『JR博多シティ』内をグループにフリー散策をして、終了しました。11月4日（祝）は、秋のハウステンボスを楽しむために、男女14名の参加のもと実施しました。秋晴れとなった当日、日常から解放された皆さんの表

12月22日（日）、今年もクリスマス交流会を行います！！今年も聖なる夜を前に、素敵な出会いがあることを祈っています。興味のある方はお気軽にお尋ねください。

お問い合わせ先 YOU&YOU事務局 (役場 総務課) 成瀬・吉田 【専用電話】 090-95651-9589 【専用アドレス】 marriage.support@town.kumamoto-yamato.jp 【専用メール】 you_and_you@docomo.ne.jp